



All Seigakuin Fellowship

No.51  
Dec.2013

# ASF NEWS

## 特集 聖学院のグローバル教育

- ・キリスト教を通して真の国際理解、聖学院中高の国際教育
- ・心を育てる、女子聖学院中高の英語国際教育



聖学院小学校新校舎の建築着工しました(2014年12月竣工予定)。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

住所変更・お問い合わせは  
各校へお願いします

- ◎聖学院大学総務課  
(大学院・女子聖学院短大) …… (048) 781-0925
- ◎聖学院大学附属みどり幼稚園 … (048) 622-3864
- ◎聖学院中学校高等学校 …… (03) 3917-1121

- ◎女子聖学院中学校高等学校 …… (03) 3917-2277
- ◎聖学院小学校・幼稚園 …… (03) 3917-1555
- ◎学校法人聖学院ASF事務局 …… (03) 3917-8352

Love God and Serve His People

## 聖学院

〒114-8574  
東京都北区中里3-12-2

# 聖学院各校の教育充実のために募金をお願いします。

## ■聖学院大学同窓会設立20周年記念式典が開催されました(9月28日)



チャペルでの式典の様子



懇親会では懐かしい先生方と楽しいひと時を過ごしました

## 目次

[巻頭言] 聖学院小学校 新校舎起工式を迎えて .....	1
学校法人聖学院理事・聖学院小学校長 村山 順吉	
●特集 聖学院のグローバル教育 .....	2
キリスト教を通して真の国際理解、聖学院中高の国際教育	
心を育てる、女子聖学院中高の英語国際教育	
連続コラム.....	4
私が出会った聖書のことば（第十八回・木戸健一先生）	
各校ニュース.....	4
学生・生徒・児童・園児の活躍.....	8
マスコミ等に見る聖学院.....	10
2014年度 入試案内 .....	12
ASF 会員のためのページ.....	13
クリスマスイベント情報／ホームカミング情報／クリスマスカード案内	
インターネットでの寄付受付について.....	15
オール聖学院フェロシップ規則.....	16
ASF 募金要項.....	17
2013年度プロジェクト別内訳 .....	18
税制上の優遇措置について.....	19
ASF 募金「振込用紙」の書き方について.....	20
ASF 募金 2013年度中間報告（募金者名簿） .....	21
2013年度 ASF 推進委員一覧.....	24

# 聖学院小学校 新校舎起工式を迎えて

学校法人聖学院理事・聖学院小学校長 村山 順吉

11月7日(木)に聖学院小学校新校舎起工式が行われ、2014年12月の完成に向けて建築工事が始まりました。村山校長の起工式での挨拶をここにご紹介します。

(一部抜粋・編集)



現在、仮校舎で小学校の生活がなされていますが、子どもたちは基本的に校舎がどこであろうと、いつも元気に集まり、学びを深め、遊びを工夫し、ともに祈りながら一日一日をかけがえのない時として過ごしています。

これから新校舎の建築が始まりますが、「建築」とは空間を創造する業、さらには空間に意味を持たせる尊い仕事だと、私は理解しています。小学校の校舎を建てるということは、「6年」という限られた時間に特別の意味をもたせた空間を創造する業なのです。小学校で一日の大半を過ごす子どもたちは、大人に向かって成長していくべき未熟な存在というのではなく、大人とはちがう文化を携えた、あるいはそれを創造していく人たちな

のです。そうであるならその6年間を、単に大人へ向かう経過的時間としてではなく、その時その年齢でしか味わうことのできない、かけがえのない時として大切に過ごせる校舎を作りたいと思うのです。入学式の時に学籍を与えられ、6年間そこにしっかりと居場所を見出し、そして卒業式とともに去っていく。その限りある時間のなかで、子どもたちとともにどれだけ有意義な時を味わい深く紡いでいけるのか、その意味で「校舎」は家や会社などの他の建物とは全く違った意味合いを帯びてくるのでしょうか。そのうえで、この建物にはどのような色を活かすべきなのか。子どもたちとともに、どのような色に染めていけるのか。このことにも、心を砕いてあたる所存です。

様々な個性を携えた一人ひとりの子ども達が将来、大人が限定してしまう囲いの中ではなく、彼らが生きる道、生きる社会にあって、周りを照らし暖める光として輝くために、我々はこれからもでき得る限りの力を尽くしていきたいと思っています。これまでの歩みに続くこれからの聖学院小学校のうえに、なお一層のお力添えをいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2013年11月7日に行われた、新校舎起工式・鉄入れ式の様子

次号、新校舎の各フロアー建築プラン等をご紹介予定です。  
お楽しみに!



## キリスト教を通して真の国際理解、聖学院中高の国際教育

グローバル教育が求められている学校の教育現場ですが、  
真の国際理解には聖書に基づくキリスト教についての知識が必要——  
聖学院中学高等学校の国際教育の根底には聖書に基づくキリスト教精神があります。

海外研修についてはタイ、オーストラリア、アメリカでの希望者を対象とした3つのプログラムがあります。その1つはタイ研修旅行。中3～高3の生徒から希望者を募り、毎年12月に実施。2012年は26名の参加者がありました。タイ北部郊外の「メーコックファーム」(山岳少数民族の子どもたちを保護し、教育の機会を与える活動を展開する施設)を訪問します。NGOやボランティア団体と協力し、現地の子どもたちと一緒に道路整備などのボランティアを実施。また山岳民族アカ族の村でホームステイを体験します。本当の豊かさとは何か、本質に触れた生徒たちの表情はみるみるうちに変わり、タイでの経験から医学部へ進学した卒業生もいるほどです。



オーストラリア体験学習には2013年は20名が参加、アメリカのホームステイには2013年には25名が参加しました。また、2013年度より長期1年間の提携校留学が始まり、米国ハワイ州ハワイ島のSt. Joseph Schoolに3名が留学中です。



卒業後の進路として海外の大学を目指す生徒が年々増えています。2012年には6名が海外の大学へ進みました。来年度からは海外大学進学のパックアップ体制を整備する予定です。また、聖学院中学校・高校には帰国生が59名在籍しており、帰国生と日本で学んだ生徒が互いに影響しあい学び合う姿が見られます。英語が堪能な帰国生のためにネイティブの教員が、すべて英語で授業を行う中1～中3までの無学年クラスなどの特徴もあります。



## 心を育てる、女子聖学院中高の英語国際教育

女子聖学院では、英語でふれあい、理解しあい、どんなの国の人とも平和なやり取りを築ける素地を作ることを目標に国際教育を行っています。年間を通して行われる、多様な体験プログラムをご紹介します。



### 国内ミニ留学体験プログラム

【対象:中1・2】

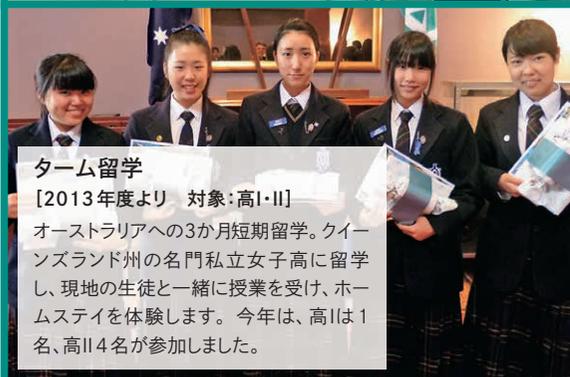
8～10人に一人のネイティブ講師が付き、「Show & Tell」をテーマに行う3日間集中型プログラム。今年は40名が参加しました。



### International Fun camp

【対象:中3～高II】

2泊3日のall Englishのキャンプ。今年は、代々木オリンピックセンターで行い、90名が参加しました。



### ターム留学

【2013年度より 対象:高I・II】

オーストラリアへの3か月短期留学。クイーンズランド州の名門私立女子高に留学し、現地の生徒と一緒に授業を受け、ホームステイを体験します。今年は、高IIは1名、高II4名が参加しました。



### ホームステイ【対象:高II】

3週間、ペンシルバニア州ランカスターでクリスチャンのホストファミリーと過ごします。参加者31名。



### 留学生短期受け入れ

欧米、アジアからの短期留学生を受け入れています。受け入れのお世話をしてくれるのは英語部のメンバー。現在部員数は100名を超えます。

### 交換留学

1年間、アメリカ・オーストラリア・ドイツに留学。帰国後は、留学単位30単位が認められます。今年度は、5名が留学、また今後2名が留学予定です。

### 海外大学指定校推薦制度【2013年度より】

海外大学（オーストラリア・イギリス・アメリカ・カナダの21国公立・州立大学）へ推薦で入学する道も開かれました。

※P.6各校ニュースの詳細もご覧ください。

## 私が出会った聖書のことば (第十八回)

心の貧しい人々は、幸いである、  
天の国はその人たちのものである。  
(聖書 マタイによる福音書第5章3節)



女子聖学院中学校高等学校  
副チャプレン  
木戸 健一

私がこのことばと出会ったのは、仙台にあるキリスト教の高等学校に入学した頃のことです。私は県立高校の受験に失敗し、意気消沈して、この高校に入学しました。毎朝の礼拝での説教は、いつも下を向いていた私の頭の上を通り過ぎていきました。そんなある日の礼拝で、この聖句が私の心の中に飛び込んできました。「心の貧しい人々は、幸いである」とイエスさまが、私に語りかけてきてくださったのです。その頃の私に、「心の貧しい人」とは、どういう人なのか分かっていただけではありません。しかしそれは、情けないほどに打ちひしがれていた私のことだと思えてなりませんでした。その時、神さまが私を受け入れてくださっていると知らされたのです。

※聖学院諸学校で牧師として活躍しておられる先生に原稿をお願いしています。

## 各校ニュース

### 28人のアウトを取りに行く 人を育てる聖学院

いつも本学院のため一方ならぬご支援・ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。私は旧女子聖学院短大教育の素晴らしさを聖学院大学が継承するとの約束の意を込め、同短大緑朋会(同窓会)の機関誌巻頭言に次のように書きました(抄)。

現在、日本社会の教育機能が低下しているとの危機感が広がっています。聖学院の代表者として、私大関係の会に出席する際、政財界からほぼ必ず、日本の教育力の機能低下を嘆き、大学から小学校まで(いや幼稚園まで)気合を入れて、世界に通用する

冠たる人材育成を図れ、との要求が出されます。「日本の国家予算は底をついている。なるべく幼稚園・小学校段階で選別して少数エリートに的を絞って限られた予算を投入しよう」、「財界は外圧に従って護送船団方式から競争淘汰方式に変えた。次は教育界の番だ」、「学生は甘やかすと『使い物』にならず、ビシビシ鍛え上げないと日本国家が持たない」等々。これに対し私は席上必ず辛口コメントをします。「OECD諸国で日本の教育投資額は近年最低ランクですが、幼少期に国家予算を集中して、深刻なトラウマを持った挫折しやすい『エリートを育てる』ことが教育ですか?」、「グローバル経済が世界の市場を呑み込んで行く外圧に黙従して、国の力になり

ますか?」、「競争なら『敗者』復活・再挑戦が保障されるべきですが、受験などの一時的『勝者』が独占をしようとしてきたところに日本社会の最悪の問題点があります」、「『使い物』という言い方は学生に失礼で受け入れられません」等々反論してきました。園児・児童・生徒・学生は、失敗をしたり挫折したりしながら育っていくものです。新約聖書マタイ福音書13章44節にあるとおり「畑」という若人の人格には、素晴らしい「宝が隠されている」ものですが、その宝が教育という触発で「開花」します。

「幻の完全試合」という三年前のMLBの試合の事件をご存知でしょうか。ガララーガというベネズエラから単身出稼ぎに来たタイガースの新人投手が、相手を9回2死まで完全に抑え、最後の27人目の打者をファーストゴロに打ち取ってアウトにしたと思いきや、ジョイスというベテラン審判がセーフと判定しました。ガララーガも監督も猛抗議をしました。後が覆らず、彼は潔く次の打者を打ち取りました。後でビデオを見たジョイスは「有望な青年の芽を摘ん

でしまった」と愕然とし、翌朝の全米各紙は'Perfect Crime'だと書き立てました。しかしガララーガは「僕は完全試合を達成したと思っています。でもジョイスさんの判定を受け入れます。なぜなら'Perfect Game'はありえても、'Perfect Man'はいないのですから。そして故郷の息子は一生誇るでしょう。なぜなら1試合に28人をアウトにした投手は今後もおそらく父親一人でしょうから」と述べ、落涙するジョイスと抱擁し合います。翌朝の各紙は「史上最悪の試合が史上最高の試合に変わった」と称えました。

金メダリストやノーベル受賞者や完全試合投手のみが賞賛されるこの世にあって、聖学院は「1試合で28人をアウトにする人」を育ててまいります。

関係者各位におかれましては、聖学院教育をどうかご理解いただき、各校の教育事業への御支援と特に聖学院小学校舎新築募金に格別のご支援を賜りたく、何とぞよろしくお願いたします。

学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸 光晴



## 聖学院大学

### 教育の質を 恒常的に高めて行く大学

今年の夏突然、文部科学省から「私立大学等改革総合支援事業」の募集がありました。それは、タイプ1「高等教育の質的転換を図っている大学」、タイプ2「地域の発展を重層的に支えている大学」、タイプ3「産業界や国内外の大学等と連携した教育研究に努力している大学」のいずれかあるいは複数項目に申請してパスした場合、重点大学としてその教育事業をさらに支援するというものでした。事務総局一体となった短期集中作業で3タイプすべての項目で応募したところ、すべてで支援対象大学として採択されました。これは申請した全国の私立大学・短大・

高専772校のうち、採択された367校中の一つであり、更に3タイプすべてで採択された22校中の一つということになります。この結果を受けた本学は、3タイプ項目すべてでさらに教育の質の向上を図ってまいります。

また、本学は2014年4月から姜尚中全学教授を第六代学長として迎え新しい出発をしますが、最高のスタートが切れるよう種々準備中です。このクリスマスには、世界最多の神学生を擁する韓国長老会神学大の金明容学長を説教者としてお招きします。学問的にも教育実践的にも恒常的に最善の体制を築いて行く所存です。

そのためにもしっかりした校舎・教育設備が必要です。特に経年化が進む校舎の補修、建て替え準備と、奨学金などの教育研究への全般のご支援を、よろし

くお願いいたします。2012年度に達成したパイプオルガン事業計画は4年後の設置に向けて、最終構想段階に入りました。感謝とともにご報告申し上げます。

(学長代行 阿久戸光晴)

(注：阿久戸学長は任期満了に伴い、12月1日付で学長代行となりました)



## 女子聖学院中学校高等学校

### 国際教育プログラムの 充実と現状

2012年度より、国際教育委員会と英語科を中心に国際教育プログラムの充実を図って参りました。3月には第1回のEnglish Fun Camp (2泊3日) が行われ、中3から高Ⅱまでの90名近い生徒が参加。9月後半の中1～2のための第2回ミニ留学体験 (3日間の学内通学) には約40名の参加。夏恒例のホームステイには高Ⅰ生の31名が参加。本年第1回のオーストラリアでのターム留学には、応募者約20名の中から厳選された5人(高Ⅱ4人、高Ⅰ1人)が3カ月間トゥーンバ市のフェアホルム・カレッジでの留学を体験。また、この夏、例年よりも多く5名の高校生がそれぞれドイツ、オーストラリア、アメリカ等々に1年間の留学に出かけました。この他、この秋、64回生の一人がロンドン大学に進学。65回生の一人はカナダのアケイデア・カレッジに進学しました。

(校長 阿部洋治)



## 聖学院中学校高等学校

### 聖学院 107年の 歴史に残る偉業

経済産業省が主催している第34回U-20プログラミング・コンテストにおいて、中学2年生の大谷孟宏君が、経済産業大臣賞を受賞しました。中学生はただ一人でした。

プログラム名は「JISIN GETTER」で、地震速報を常時監視し、速報が発表されると、設定した地点の予測

震度を計算し、リアルタイムで地震モニターも表示し、日本全国の揺れが確認できます。さらに、気象庁からの地震速報を通知することもできます。画期的なものです。避難開始に要する時間が短縮されます。

このプログラムを作るきっかけは、2011年3月11日の東日本大震災です。地震災害の大きさと、被災者に対する同情心でした。地震を避けることはできませんが、被害を軽減することは可能だと考えました。

大谷君は聖学院幼稚園、聖学院小学校を経て聖学院中学に入ってきました。プログラムの作成には2年半要しました。このプログラムが今後利用され、有効に用いられることを願います。

(校長 戸邊治朗)



## 聖学院小学校

仮校舎に移転してから半年が過ぎ、子どもたちも新しい環境での生活を有意義に過ごしています。

9月21日(土)に聖学院フェアが開催されました。今回は新校舎建築の事情により会場が分かれ、ご不便をおかけいたしました。保護者のみならず同窓会、後援会のお支えにより、多くの来場者を迎える素晴らしいフェアとなりました。

また、先日行われた入試では、募集定員をはるかに上回る志願者が与えられ、例年にも増して慎重な選考がなされました。多くの方々に志望していただいたことに心より感謝を申し上げますとともに、改めて聖学院小学校のあり方を見つめ直し、今後もより質の高い教育に心を尽くしてまいります。

現在行われております新校舎建築事業は順調に進み、旧校舎の解体が終わり、11月7日(木)の起工式を経て新校舎の建築が始まりました。希望に満ちた新校舎の建築に向けて知恵を絞り、力を結集していく所存です。今後とも変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

(校長 村山順吉)



## 聖学院幼稚園

昨年末に竣工し、今年の始めより使用している新しい園舎は旧園舎のよいところは踏襲しながら、子どもたちがより安全に楽しく生活できるものになりました。踏襲した点は建物中央の2階まで吹き抜けになったホールとそれを囲むように配置された保育室を初めとした子どもたちのための空間です。また、すべての保育室は園庭に面しています。保育室には明るい光が一年中入ってきます。また保育者の目が保育室内は元より、園庭にも届きます。

もちろん旧園舎に比べ施設は充実しました。広く使いやすくなった絵本・ままごとコーナー、水遊びやお弁当を食べる場所として使える屋上は子どもたちにとってお気に入りの場所になっています。

このようなすばらしい園舎を与えられたのも、ASF募金にご協力くださった皆様のお力が大きい事は言うまでもありません。心より御礼申し上げます。今しばらく借入金の返済が続きます。引き続き皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

卒園生をはじめ、久しぶりに幼稚園をお訪ねくださった方々の多くは「新しいけれど、懐かしい。」とおっしゃいます。どうぞ皆様も聖学院幼稚園をお訪ねください。  
(園長 佐藤 慎)



## 聖学院大学附属みどり幼稚園

台風が多い今秋、聖学院大学附属みどり幼稚園では10月26日(土)に予定していたバザーを台風到来の予報で中止いたしました。幼稚園と保護者の会が共催して子どもたちの保育にその収益を還元していくために、また、子どもたちが楽しめるものとなるために毎年恒例で行われているバザーですが、このような決断を迫られたのは初めてのことでした。11月15日(金)にミニバザーを行いました。いろいろな現状の中で、保護者の皆様が最大限の協力をし、支えてくださることに改めて感謝してお

ります。

在園児の保育の他、新たな年度に向かっては、4月に入園する子どもたちを対象に後期末就園児クラスを、1歳以上の未就園児対象の「親子で遊ぶ会」「園庭開放」を、11月以降も継続して行っています。子どもたちの健やかな育ちの場としての聖学院大学附属みどり幼稚園を今後もお支えいただきますようよろしくお願いいたします。  
(園長代行 山口 博)



## 聖学院アトランタ国際学校

今年のセインツは、音楽を通してサービス・ラーニングを実行してきた年といえるかもしれません。ホームレスの人達を助ける団体の全米総会で歌を歌ったのを皮切りに、「世界の言葉でアメージング・グレース」、そしてNHKの[百万人の花は咲く]プロジェクトにも参加しました。アトランタでは既に合計7千人以上の人達の前で歌を歌う機会を与えられ、日本語と英語の歌声を聞かれた方達からは、「セインツっ子の歌声は、美しいだけでなく人の心を打つ何かがある」「涙がでました」といったお声が聞かれます。これからもセインツ児童は、きっと歌を歌い続けることでしょう。音楽を通して、誰かのために何かをしようという気持ちを育ててくれたら、と願っています。音楽を通して世界の人達と心が通じ合えますように。

開校以来、ずっと学校を支えてきてくださったみなさまに心から感謝を申し上げます。

(校長 エイハーンみな子)

# 学生・生徒・児童・園児の活躍

2013年、活躍した学生・生徒・児童・園児たちの成績をまとめました。おめでとうございます。

※入賞したものを掲載しています (2013.11.26現在)

## 聖学院大学

【体育会陸上競技部】

◆第92回関東学生陸上競技対校選手権大会  
(関東インカレ)

男子2部三段跳び 優勝 加藤 翔(福祉4年)  
男子2部やり投げ 3位 橋本三四郎(政経3年)  
男子2部400mハードル  
…………… 8位 上原 聖悟(日文4年)  
男子2部走幅跳び 準優勝 加藤 翔(福祉4年)  
男子2部棒高跳び 4位 大山 文太(コミュ3年)  
男子2部砲丸投げ 8位 岩田 駿介(コミュ2年)  
男子2部円盤投げ 3位 ゲレロダリオ(福祉3年)  
女子1部100m… 7位 内免 仁美(コミュ4年)  
※男子2部総合順位 8位  
※男子2部フィールド順位 2位

◆2013日本学生個人陸上競技選手権大会

男子三段跳び… 8位 加藤 翔(福祉4年)  
女子走幅跳び… 7位 照井はるか(コミュ1年)

◆天皇賜杯第82回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)

男子三段跳び… 9位 加藤 翔(福祉4年)  
女子100m準決… 5位 内免 仁美(コミュ4年)  
女子800m予選… 4位 本間 涼夏(福祉2年)  
女子走幅跳び… 13位 照井はるか(コミュ1年)

◆第24回関東学生新人陸上競技選手権大会

女子三段跳び… 6位 渡邊亜衣里(コミュ1年)  
女子やり投げ …… 準優勝 小池 礼華(コミュ1年)

女子4×400mリレー5位

本間涼夏(福祉2年) 荷田翔子(福祉3年)  
小野 南(コミュ3年) 水野真琴(政経1年)

◆第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)

成年少年女子共通4×100リレー  
内免 仁美(コミュ4年)第3走 準決勝2組4位  
成年女子100m  
内免 仁美(コミュ4年)予選2組7位

◆第29回日本ジュニア陸上選手権大会

女子走高跳び… 17位 照井はるか(コミュ1年)

## 聖学院中高

◆第34回U-20プログラミング・コンテスト

…………… 経済産業大臣賞  
大谷孟宏(中2)

◆第1回宇宙エレベーター競技会

(11/23 聖学院中高会場)  
…………… 物理部が出場

◆東京国体馬術競技成年男子標準障害飛越競技

…………… 優勝 宇都宮誉司(99年生)

◆全日本障害飛越選手権大会2013 PartI

…………… 優勝 宇都宮誉司(99年生)

## 女子聖学院中高

### 【高校チアリーディング部】

- ◆第7回チアリーディングアジアインターナショナルオープンチャンピオンシップ  
…………… 全国高校6位(決勝進出)

### 【中学バドミントン部】

- ◆北区中学校バドミントン夏季大会  
女子団体…………… 第3位

### 【高校バスケットボール部】

- ◆東京都高等学校体育連盟主催  
女子バスケットボール夏季大会  
Kブロック…………… 第3位

### 【吹奏楽部】

- ◆東京都中学校吹奏楽コンクール  
A組…………… 金賞
- ◆全日本吹奏楽コンクール都大会  
…………… 銅賞
- ◆東京都高等学校吹奏楽コンクール  
A組…………… 銅賞

### 【中学ディベート部】

- ◆関東甲信越大会… 準優勝
- ◆全国大会  
予選…………… 1位  
本選…………… ベスト16

### 【個人】

- ◆Heivai Maui 2013  
ソロ部門…………… 第1位 大野萌花(高II)
- ◆礼和流空手道北地区大会  
テンカント演武… 最優秀賞 田中美玖(中3)

- ◆ボンボン・バトントワリング・マーチングバンド  
JAPAN CUP  
個人スポーツダンス部門  
…………… 4位 江口 萌(高II)

- ◆ASIA OPEN  
ダブルスPom部門 1位 江口 萌(高II)  
Open Pom部門 1位 江口 萌(高II)

## 聖学院小学校

- ◆消防ポスターコンクール  
最優秀賞(消防総監賞)  
…………… 治田 慶(2年)  
…………… 山口 彩(4年)
- ◆文京区少年剣道大会  
…………… 準優勝 茂原梨欧(5年)

- ◆新宿区区民総合体育大会少林寺拳法  
小学校高学年の部 1位 小幡龍之介(5年)

## 聖学院アトランタ国際学校

- ◆レイチェル・ハワード ソナチネ/  
ソナタ ピアノコンペティション  
…………… 3位 大多和沙苗(4年)

- ◆フィギュアスケート 諸大会  
・サウスカロライナ州グリーンビルオープン  
フリー…………… 2位(No Test)  
・ジョージア州アトランタオープン  
ジャンプ…………… 1位(Pre-Preliminary)  
・ジョージア州ピーチオープン  
ドラマティックスケート 1位(No Test)  
・サウスアトランティック地区大会  
コンパルソリー …… 5位(Pre-Preliminary)  
フリー…………… 11位(No Test)

以上 ハリス里央菜(6年)

## マスコミ等に見る聖学院

2013年、多くのマスコミ・メディア等に聖学院の教育が取り上げられました。その一部を紹介します。(2013.11.26現在)

学校名	掲載誌(掲載日/放映日)	内容
聖学院大学	(株)エデュケーショナルネットワーク「Lockon! Vol.16」(2013.3)	設置2年目の「こども心理学科」で教職課程の履修が可能に
	朝日新聞(2013.4.2)	きょういくトーク埼玉「磨けば輝く原石と対話を 東大から移り聖学院大学全学教授に」
	NHK総合(2013.5.24)	特報首都圏「姜尚中 息子からの宿題」放映。聖学院大学卒業生で姜先生の小説「心」の主人公の青年のモデルの一人、蛭間龍矢さんも出演。
	朝日新聞(2013.6.1)	(埼玉版)「就活 夏の陣へ走れ」。キャリアサポートセンターの就職活動支援の取り組みや相談する4年生のコメントなどが掲載された。
	毎日新聞(2013.7.16)	(埼玉中央版)改憲巡り民間でも論議「多数勢力の暴走許す」「憲法に向き合う機会」(阿久戸光晴学長関係)
	朝日新聞(2013.7.26)	(埼玉版)「姜尚中さん、聖学院大次期学長に」
	埼玉の福祉広報SAi8月号(2013.8)	クローズアップ特別企画—被災地の今②— 「子どもの心に寄り添う支援」。釜石市鶴住居地区での継続的な支援活動について取り上げられ、こども心理学科学生のコメントも掲載された。
	埼玉新聞(2013.8.28)	学生と住民 防災学ぶ「上尾・聖学院大学で初の講座」(聖学院大学復興支援ボランティアチームSAVE関係)
	読売新聞(2013.10.6)	「上尾市と聖学院大 幅広く連携」。上尾市との包括協定について掲載された。
サンデー毎日(2013.9.15)	「進路指導教諭が勧める大学」。聖学院大学が「面倒見の良い大学」として全大学中6位にランク付けされた。私学では4位。	

学校名	掲載誌(掲載日/放映日)	内容
聖学院大学	朝日新聞出版 「大学ランキング2014年度版」	「資格、採用試験」国家試験合格社会福祉士(人)で138位、精神保健福祉士(人)で64位。採用幼稚園26位、保育士46位、小学校103位。外国留学生総数で61位。
	朝日新聞(2013.10.1)	オピニオン耕論 「痛み通じる同土出会えば」(姜尚中先生関係)
	学研・進学情報(2013年12月号)	入学前教育の最前線を扱った特集で、聖学院大学入学前準備教育の取り組みが紹介された。
聖学院中高	週刊東洋経済(2013.7.6号)	『6年間で伸びる中高一貫校・学力伸長度ランキング』全国男子校で第1位。全国(共学・女子・男子)第14位。
	東京新聞(2013.11.9)	撮ってもらってーんずのコラムに、聖学院中高「旅と鉄道部」「鉄道研究会」の活動が紹介された。部員のコメントと写真も掲載されている。
	読売新聞(2013.11.24)	(都民版)「目指せ宇宙エレベーター 中高生ら技術競う」。聖学院中高会場で開催、物理部が出場した。
女子聖学院中高	週刊朝日(2013.4.12)	「選ばれる私学～理系進学に強い学校首都圏女子・共学校別学女子編～数学の授業を考える」誌上座談会特集に、女子聖学院から城築昭雄先生、山本真実先生が登場し、数学授業の取り組みについて語っている。
アトランタ国際学校	NHK総合(2013.10.31)	5、6年生が、2011年に日本の東北地方で地震と津波の被害にあった方々のためにNHKの「100万人の花は咲く」プロジェクトに参加し、番組「明日へ1min～100万人の花は咲く」で紹介された。  

# 2014年度 入試案内

いずれの学校も各校のホームページから資料請求をすることができます。

聖学院ホームページ URL <http://www.seig.ac.jp>

## 女子聖学院中学校

行事	学校説明会 (受験生・保護者対象)	12/14(土)、1/11(土)
入試	募集人員(女子)	①60名 ②40名 ③30名 ④20名 ⑤10名 ※帰国生入試 若干名
	出願期間	①1/20(月)～1/31(金) ②③1/20(月)～考査当日 ④1/20(月)～2/2(日) ⑤1/20(月)～2/4(火) ※帰国生入試 1/6(月)～1/11(土) ※1/26(日)は受付いたしません。
	入試日	①2/1(土) ②2/1(土)午後 ③2/2(日)午後 ④2/3(月) ⑤2/5(水) ※帰国生入試 1/13(祝・月)
	合格発表	入試日即日発表

☎03-3917-2277

## 聖学院中学校高等学校

行事	学校見学会 (受験生・保護者対象)	12/23(祝・月)入試体験あり
	学校説明会 (受験生・保護者対象)	1/11(土)思考力セミナー申込要
入試 (中学)	募集人員(男子)	①70名②30名③40名④20名 ⑤10名⑥10名 英語選抜:特に定めず 帰国生入試:A方式15名 B・C方式・帰国生英語選抜 特に定めず
	出願期間	①1/20(月)～1/31(金) ②～⑥1/20(月)～考査当日 英語選抜:1/20(月)～1/31(金) ※1/26(日)は受付いたしません ※帰国生入試の出願期間については、学校に お問い合わせください
	入試日	①2/1(土)AM ②2/1(土)PM特 ③2/2(日)AM ④2/2(日)PM特 ⑤2/3(月)PM特 ⑥2/4(火)AM特 英語選抜:2/1(土)AM ※特一特選抜入試 帰国生入試:1/7(火) 帰国生英語選抜:2/1(土)AM
	合格発表	入試日即日発表
入試 (高校)	募集人員(男子)	帰国生:①推薦15名 ②一般15名
	出願期間	帰国生: ①12/2(月)～12/27(金)、1/6(月) ②12/16(月)～12/27(金)、1/6(月) ～1/21(火) ※12/8(日)、15(日)、1/12(日)、13(月・祝)、 19(日)は受付いたしません。
	入試日	帰国生:①1/7(火) ②1/22(水)
	合格発表	入試日即日発表

☎03-3917-1121

## 聖学院大学

募集人員	[政治経済学部] 政治経済 160名 [人文学部] 欧米文化 80名/日本文化 80名 [人間福祉学部] 児童 100名/こども心理 80名/人間福祉 80名	
入試	AO入試【レポート型】 ※1※2	【エントリー】～1/31(金)
	AO入試【講義型】	【Ⅳ期】12/21(土) 【Ⅴ期】1/25(土)
	AO入試【英語特別】※3	12/21(土)
	自己推薦入試 ※1	1/18(土)
	スポーツ推薦入試 ※1	【Ⅱ期】12/21(土) 【Ⅲ期】1/18(土)
	一般入試 (◎:児童学科は実施しません)	△2/4(火)◎2/14(金)◎3/3(月) ◎3/12(水)◎3/22(土)

※1 児童学科での募集は行いません。

※2 各学科の定員に達した時は、エントリーができないこともあります。

※3 政治経済学部と人文学部のみ募集を行います。

☎048-725-6191(アドミッションセンター)

## 聖学院大学大学院

募集人員	[政治政策学研究所](修士課程)10名 [アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所](博士前期)5名(博士後期)5名 [人間福祉学研究所](修士課程)10名	
入試 (春期)	出願期間	2/3(月)～2/12(水)
	入試日	2/22(土)
	合格発表	2/25(火)

☎048-780-1707

## 聖学院アトランタ国際学校

募集	[幼稚部] 1～3年保育 [小学部] 1～6学年	
入試	出願期間	～1/17(金)
	入試日	2/8(土)
	考査方法	[幼稚部] 保護者同伴の面接及び行動・ 遊びの観察 [小学部] 面接及び学力テスト

※上記以外にも随時ご相談ください。

現地アトランタ ☎770-730-0045

日本国内お問合わせ先

☎03-3917-8351(学校法人聖学院法人代表)

聖学院幼稚園および聖学院大学附属みどり幼稚園は、3歳児、4歳児とも若干名募集中です。(詳細は同封のチラシをご覧ください)

# クリスマスイベント情報

## 各校クリスマス情報

PTAや卒業生が参加できる各校のクリスマスイベントをご紹介します。

学校名	イベント名	日時・場所	対象者
聖学院大学 聖学院大学附属 みどり幼稚園	クリスマスツリー点火祭	11/27(水) 16:40～18:30 南キャンパス図書館棟前	学生・園児・周辺地域の方々
	聖書を学ぶ会(大学) 講師:阿久戸光晴 学長	11/27(水) 15:10～16:10 北キャンパスエルビスホール	後援会・学生・一般
	クリスマスコンサート 演奏:女声コーラス“グリーン”	11/27(水) 18:30～ 大学チャペル	一般
聖学院中高	PTAクリスマス礼拝・祝会	12/14(土) 13:00～15:30 礼拝:聖学院中高講堂 祝会:本館B1F食堂	PTA・後援会
女子聖学院中高	PTAクリスマス	12/7(土) 12:45～16:00 女子聖学院チャペル	PTA・受験希望者・後援会
	卒業生と祝うクリスマス	12/19(木) 14:00～15:30 女子聖学院チャペル	卒業生(お友達やご家族の方もぜひお越しください)
聖学院小学校	PTAクリスマス礼拝	12/10(火) 10:00～12:00 滝野川教会	保護者・聖学院幼稚園保護者、後援会
	クリスマス礼拝・ページェント	12/17(火) 10:00～11:30 女子聖学院チャペル	児童・保護者
聖学院幼稚園	保護者クリスマス礼拝	12/6(金) 9:30～11:00 聖学院幼稚園ホール	保護者
	クリスマス会	12/14(土) 10:00～12:00 女子聖学院チャペル	園児・保護者 未就園児と保護者
聖学院大学附属 みどり幼稚園	保護者の会クリスマス	12/2(月) 10:30～11:30 大学チャペルにて	園児・保護者
	クリスマス礼拝・祝会	(3才児) 12/18(水) 10:00～11:00 (4才児) 12/18(水) 9:45～11:00 (5才児) 12/18(水) 14:00～16:00	園児・保護者

詳細は、各校にお問い合わせください。

## 各校のクリスマスイルミネーション

今年も素敵なイルミネーションが各校に点ります。ぜひご覧になってください。

学校名	期間	場所	備考
聖学院大学附属 みどり幼稚園	11/27(水)～1/5(日)	大学図書館棟前のヒマラヤ杉	点火祭は11/27(水) 16:40～
女子聖学院中高	11/15(金)～1/6(月)	チャペル棟の入口付近の植え込み	点火式は11/15(金) 16:00～※駒込キャンパス合同
聖学院中高	11/15(金)～1/6(月)	講堂前ヒロティのモミの木	
聖学院小学校 聖学院幼稚園	11/15(金)～1/6(月)	校庭、園舎、仮校舎正門付近	

詳細は、各校にお問い合わせください。

## ホームカミング情報(2013年度)

ホームカミングのご参加ありがとうございました。来年もぜひいらしてください。(2013.11.26現在)

学校名・行事名		日時	対象	参加者数	ホームカミングの様子
聖学院大学附属 みどり幼稚園	同窓会	5月25日(土)	小～中学生の卒園 者と保護者	95 <small>他 保護者多数</small>	在園生の保護者であり卒園生でもある方や旧職員など、ご家族を連れてのご参加で、軽食をいただきながらアットホームで楽しいひと時を過ごしました。
		7月15日(祝・月)	高校生以上の卒園 者と保護者	35	
聖学院幼稚園	ホームカミング	2014年 3月21日(祝・金)	1998年度 (1999年3月卒)	—	2014年1月に成人式を迎えられる卒園生とその保護者の皆様とお祝いし、旧職員もお迎えして楽しいひとときを過ごしました。
聖学院小学校	同窓会総会	6月8日(土)	卒業生	約100	東京プリンスホテルガーデンアイランドにおいて、多くの参加者が楽しい交わりの時を持ちました。旧職員の方々も多く参加され、新校舎のコンセプトや新しい教育活動の話題で盛り上がりました。
女子聖学院中高	ホームカミング	9月21日(土) 13:30～16:00	高35回生	48	第1部が礼拝、記念撮影のあと第2部の茶話会を行い、久しぶりの再会を懐かしみ、楽しいひと時を過ごしました。
		10月5日(土) 13:30～16:00	高45回生	51	
		10月19日(土) 13:30～16:00	高55回生	49	
聖学院中高	ホームカミング	11月2日(土) 11月4日(祝・月)	56回生・81回生・ 105回生	約300	今回は初めての試みとして記念祭の11/2(土)、11/4(祝・月)の2日間ホームカミングを行いました。56回生・81回生・105回生をお招きし、記念祭にいられた卒業生の方々が気軽にお立ち寄り頂けるよう教室(ホームカミングルーム)を用意しました。たくさん卒業生が立ち寄り再会を楽しんでおりました。
聖学院大学	同窓会総会	11月2日(土) 11:00～	卒業生	約100	総会の開催、豚汁の提供、またヴェリタス祭当日は同窓会ルームを開設し、アルバムなどを展示。100名程の卒業生が来室しました。
女子聖学院短期大学	緑朋会総会	11月27日(水) 15:00～	元短大教員、 卒業生	—	総会終了後、クリスマスソング点火祭、女声コーラスグループのコンサートを楽しみました。

## 2013年度 オリジナルクリスマスカードができました

今年は、切り絵アーティストとして活動中の中村将彦さん(聖学院大2008年卒)に羊飼い、光の道など聖書の場面をモチーフに制作いただいた素敵なカードです。ご希望の方には1枚200円で販売します(送料別)。品切れの場合はご容赦ください。尚、カードの収益金は全て、ピースハウス運動※及びフィリピン台風被災地に寄付されます。

### お申込 方法

下記の電話、FAX、E-mailに必要事項(希望枚数・住所・氏名)をご連絡ください。

TEL 048-780-1707 FAX 048-725-6891

E-mail pr@seig.ac.jp

### お支払い 方法

カード到着後1週間以内に切手または現金書留で下記住所までお送りください。

住所 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

聖学院大学広報戦略室



※「ピースハウス運動」とは、聖路加国際病院の日野原重明先生が中心となって建てた末期ガン患者のための独立型ホスピス「ピースハウス」を支援するための活動です。

# インターネットでの寄付受付を開始しました

クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォンまたは携帯電話からインターネットによるお手続きができます。  
詳しくは以下URLからご参照ください。

## ●学校法人聖学院ホームページ

<http://www.seig.ac.jp/>



【ASF ご寄付・お申込はこちら】

のボタンをクリックすると、寄付申し込み詳細ページが表示されます。

携帯電話(ガラパゴス携帯電話)をご利用の方は、下記QRコードから携帯用ページにアクセスできます。

<http://www.seig.ac.jp/m/asf/>



## ●オール聖学院フェロシップ(ASF) 寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>



【インターネットからのお申し込み】のボタンをクリックすると、本学が寄付の決済を委託している株式会社フューチャーコマースのF-REGI寄付支払いサイトへ移動し、こちらでのお手続きとなります。

# オール聖学院フェロースhip規則

## 名称

第1条 オール聖学院の後援組織である本会は、オール聖学院フェロースhip(以下略称「ASF」という。)と称し、事務所を学校法人聖学院(以下「法人」という。)管理局に置く。

## 目的

第2条 ASFは、法人諸学校の設立理念の達成を目指し、オール聖学院一致の精神を高揚するとともに、その財政的基盤を確立するため法人諸学校関係諸団体の構成員及び法人諸学校の設立理念に賛同する篤志家による寄付行為を推進することを目的とする。

## 組織

第3条 本会は法人理事長が推薦する推進委員をもって組織する。  
2 本会に推進委員長1名、副委員長若干名を置く。委員長、副委員長は法人理事長が委嘱する。  
3 推進委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

## 活動

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。  
(1) 法人への寄付行為の推進を図り、ASF法人会員、個人会員の加入促進を図る。  
(2) 法人の現状について法人諸学校関係諸団体及びASF法人会員、個人会員の理解を深めることに努める。  
(3) その他必要な活動を行う。

## ASF寄付金

第5条 ASFの呼び掛けによる寄付金は法人に直接納入され、その帰属は法人とする。

## 推進委員会の開催

第6条 毎年1回6月に推進委員会を開催し、ASFの推進状況報告、推進計画等を協議する。

## 本会の費用

第7条 本会活動に要する費用は法人が負担する。

## 規則の改廃

第8条 本規則の改廃は、推進委員会の了承を受け、法人理事会が決定する。

## 付則

1. 本規則は1988年7月30日から施行する。
2. 法人諸学校関係諸団体は、2012年4月1日現在、以下のとおりである。
  - (1) 聖学院大学後援会
  - (2) 聖学院大学同窓会
  - (3) 女子聖学院短期大学緑朋会
  - (4) 聖学院中学校高等学校PTA
  - (5) 聖学院中学校高等学校後援会
  - (6) 聖学院中学校高等学校同窓会
  - (7) 女子聖学院中学校高等学校PTA
  - (8) 女子聖学院中学校高等学校後援会
  - (9) 女子聖学院翠耀会
  - (10) 聖学院小学校PTA
  - (11) 聖学院小学校同窓会
  - (12) 聖学院小学校後援会
  - (13) 聖学院幼稚園父母の会
  - (14) 聖学院幼稚園同窓会
  - (15) 聖学院大学附属みどり幼稚園保護者の会
  - (16) 聖学院大学附属みどり幼稚園同窓会
  - (17) 篤志家の会(現職及び退職の理事・監事・評議員・教職員及び上記以外の卒業生の父母・保証人を含む。)

# ASF(オール聖学院フェロースhip) 募 金

聖学院の教育充実のための目標額達成に向けて皆様からのご支援をお願いいたします。

## 2013年度募金要項

2013年度募金目標額	420,000,000円
募金プロジェクト	<p>聖学院幼稚園・小学校建築事業          (聖学院小学校50周年記念事業)          全聖学院奨学資金充実事業          聖学院大学創立25周年記念事業          (大学・大学院・総合研究所の施設設備充実を含む)          施設設備充実(聖学院中学校高等学校)          施設設備充実(女子聖学院中学校高等学校)          施設設備充実(聖学院大学附属みどり幼稚園)          施設設備充実(聖学院アトランタ国際学校)          (在外教育施設のため寄付金控除の対象とはなりません)          東日本大震災救援・復興募金          (直接的な寄付を考慮しており寄付金控除の対象とはなりません)</p>
募金の種類等	<p>個人・法人及び各種団体(PTA、後援会、同窓会等)          個人:1口 10,000円 法人:1口 100,000円          1口以上のご協力をいただければ幸いです。1口未満でも感謝を持ってお受けいたします。</p>
入会・払込方法	<p>○寄付金の納入によってASFの会員になります。          ○同封の学校法人所定郵便振替用紙にプロジェクト、口数、金額、ご住所、お名前等の必要事項をご記入の上、お振込みください。          ○学校法人所定用紙にて振込みの場合、送金手数料は無料になります。          ○クレジットカード(VISA,MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンからインターネットによるお手続きができます。          詳しくは聖学院ホームページ(右記URL)をご参照ください。 <a href="http://www.seig.ac.jp/">http://www.seig.ac.jp/</a></p>
その他	<p>○入金確認後、順次、寄付金受領書(特定公益増進法人の証明書付)をお送りいたします。          ○個人のご寄付については税額控除に係る証明書を合わせてお届けします。          ○匿名でのご寄付もたまわります。</p>
お問い合わせ	<p>学校法人聖学院ASF事務局          〒114-8574 東京都北区中里2-9-5          TEL:03-3917-8352 FAX:03-5907-7034</p>

なお、ASF募金へのご協力につきましては毎年継続してお願いしております。  
 既にご寄付をいただいた方々には感謝申し上げます。

## 2013年度プロジェクト別内訳(2013年4月1日~2013年9月30日)

**寄付総件数 525件 寄付金総額 21,425,547円**

2013年度プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額 (円)
聖学院幼稚園・小学校建築事業	177	8,567,120
学校法人聖学院	18	642,281
全聖学院奨学資金充実事業	58	1,425,000
聖学院大学創立25周年記念事業	37	468,000
軽井沢セミナーハウス再建事業	2	150,000
パイプオルガン	1	50,000
施設設備充実 (聖学院大学)	45	1,585,000
施設設備充実 (聖学院大学大学院)	9	105,000
施設設備充実 (聖学院中学校高等学校)	50	6,009,165
施設設備充実 (女子聖学院中学校高等学校)	51	1,316,981
施設設備充実 (聖学院大学附属みどり幼稚園)	35	420,000
施設設備充実 (聖学院大学総合研究所)	6	105,000
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	2	60,000
東日本大震災救援・復興募金	34	522,000
合 計	525件	21,425,547円

Friends of SAINTS

プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額(ドル)
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	8件	1,674. 00ドル

# 税制上の優遇措置について

学校法人聖学院は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けており、日本私立学校振興・共済事業団からは、本学院を指定受取人とする「受配者指定寄付金」の承認を受けております。寄付金は個人、法人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

## ○個人の場合

平成23年度の税制改正により、「税額控除」と「所得控除」のいずれか有利な制度を選択いただけるようになりました。但し、「税額控除」については平成24年3月29日以降に受領したご寄付から寄付金控除の対象となります。

	税額控除 ※新たに選択可能になったもの	所得控除
控除額	$\{ (\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000\text{円}) \times 40\% \}^{\ast 2}$ 税率に関係なく所得税額から直接控除するため、小口のご寄付に対しても減税効果が大きくなります。	$\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000\text{円}$ 所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得金額に比べ、寄付金額が大きい場合には、税額控除より減税効果が大きくなります。
申告時期	確定申告時（翌年1月1日～3月中旬）	
申告方法	本法人が発行した「寄付金受領書」および「税額控除に係る証明書」を所轄税務署に提出してください。	本法人が発行した「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書」を所轄税務署に提出してください。
還付される金額について ※おおよそのイメージです	例）給与収入600万円の方が5万円をご寄付された場合 （所得控除・基礎控除のみ勘案した場合）	
	税額控除額： $(5\text{万円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 19,200\text{円}$ 還付金額 <sup>※2</sup> ： 19,200円	所得控除額： $5\text{万円} - 2,000\text{円} = 48,000\text{円}$ 還付金額 <sup>※注</sup> ： $48,000\text{円} \times 20\% = 9,600\text{円}$ ※注 各人が適用されている所得税率は収入によって5～40%の範囲で変動します。
備考	上記の還付金額はあくまでも控除の違いを掴んでいただくための簡易計算による金額です。必ず還付される金額ではございませんのでご注意ください。	

※1 … 年間総所得額の40%が限度額です ※2 … 所得税額の25%が限度額です

また、上記の控除に加えて個人住民税の寄付金税額の控除対象となる場合があります。本学院では東京都、埼玉県、更にさいたま市、上尾市にお住まいの方につきましては、条例により個人住民税の控除対象寄付金として指定を受けております。詳しくはお住まいの都道府県・区市町村へお尋ねください。

### ※領収書の発行について

クレジットカード決済でお申し込みいただいた場合、寄付金が法人に入金されるまでには申込日から通常約1ヶ月半ほどかかりますので、あらかじめご了承ください。また、領収書の日付は、申込日ではなく、クレジット会社から法人に入金された日付となります。そのため、11月以降のお申し込みは、領収書の発行日付が翌年になる可能性があり、その場合は、寄付金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。11月以降のお申し込みで、当年内の寄付金控除をご希望の場合は、郵便振替用紙によるお振込をご利用ください。

## ○法人の場合

本学院は、日本私立学校振興・共済事業団より「受配者指定寄付金」の承認を受けておりますので、寄付金の全額を当該年度の損金に算入することができます。必要書類はASF事務局より郵送いたします。日本私立学校振興・共済事業団への事務手続きはASF事務局で行い、手続き完了後には日本私立学校振興・共済事業団が発行する寄付金受領書をお送りいたします。

## ○遺贈等の場合

土地・建物などの現物による寄付についてもお受けいたしております。遺贈の場合には、みなし譲渡所得課税の免税が適用されます。詳細につきましてはあらかじめASF事務局までご相談ください。

# ASF募金「振込用紙」の書き方について

## ■義援プロジェクト

義援プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。

※この募金は寄付金控除の対象とはなりません。

02 東京		払込取扱票										通常払込料金加入者負担				払込票				ご案内			
口座番号(右詰めにご記入ください)												金額				口座番号(右詰めにご記入ください)				金額		1. この用紙で送金の場合、送金手数料はかかります。	
0 0 1 1 0 1												5 8 0 2 6				0 0 1 1 0 1				5 8 0 2 6		2. 個人一口 10,000円、法人一口 100,000円とさせていただきますが、日本円で送金をもってお受けいたします。	
学校法人 聖学院ASF募金口												料				学校法人 聖学院ASF募金口				料		3. 聖日本大学教員・准教授等については別紙送金の対象とはなりません。	
義援金プロジェクト												東日本大震災救援・復興募金				義援金プロジェクト				東日本大震災救援・復興募金			
通												(注1)				払込金額				払込金額			
信												受付局日附印				払込人住所氏名				払込人住所氏名			
欄												受付局日附印				料				料			
払込人住所氏名												受付局日附印				金				金			
表面の注意事項をお読み下さい。(私制承認票10096号)												受付局日附印				特殊取扱				特殊取扱			

## ■募金プロジェクト

下記プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。

- 聖学院幼稚園・小学校建築事業
- 全聖学院奨学資金充実事業
- 聖学院大学創立25周年記念事業(大学・大学院・総合研究所の施設設備充実を含む)
- 施設設備充実(聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院大学附属みどり幼稚園・聖学院アトランタ国際学校(寄付金控除の対象とはなりません))

02 東京		払込取扱票										通常払込料金加入者負担				払込票				ご案内			
口座番号(右詰めにご記入ください)												金額				口座番号(右詰めにご記入ください)				金額		1. この用紙で送金の場合、送金手数料はかかります。	
0 0 1 1 0 1												5 8 0 2 6				0 0 1 1 0 1				5 8 0 2 6		2. 個人一口 10,000円、法人一口 100,000円とさせていただきますが、日本円で送金をもってお受けいたします。	
学校法人 聖学院ASF募金口												料				学校法人 聖学院ASF募金口				料		3. 聖日本大学教員・准教授等については別紙送金の対象とはなりません。	
指定学校名												(注1)				義援金プロジェクト				東日本大震災救援・復興募金			
聖学院大学												(注2)				義援金プロジェクト				東日本大震災救援・復興募金			
女子聖学院												(注3)				義援金プロジェクト				東日本大震災救援・復興募金			
聖学院中高												受付局日附印				払込金額				払込金額			
女子聖学院中高												受付局日附印				払込人住所氏名				払込人住所氏名			
聖学院大学附属みどり幼稚園												受付局日附印				料				料			
聖学院アトランタ国際学校												受付局日附印				金				金			
表面の注意事項をお読み下さい。(私制承認票10096号)												受付局日附印				特殊取扱				特殊取扱			

(注1) 個人の募金口(口数)について

・募金は、個人「1口 10,000円」としてありますが、**10,000円以下の募金でもお受けしております**。その際、「口数」の記入は不要です。金額のみご記入ください。

(注2) 募金プロジェクトについてご希望等ございましたら、通信欄をご利用ください。

(注3) 募金される方の氏名、住所をお書きください

・「通信欄」の下の「空白欄」に、募金される方のお名前、住所を必ずお書きください。(受領書を送付いたします)

・匿名希望の方は、その旨お書きください。

■学校法人所定用紙でお振込の場合、送金手数料は無料です。



All Seigakuin Fellowship

## 聖学院

学校法人

理事長・院長／阿久戸 光晴 副院長／山口 博  
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-8351  
ホームページ <http://www.seig.ac.jp> E-mail [pr@seig.ac.jp](mailto:pr@seig.ac.jp)

### ■さいたま上尾キャンパス

## 聖学院大学大学院

政治政策学研究科／アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科／人間福祉学研究科  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 Tel 048-725-0781

## 聖学院大学

政治経済学部／政治経済学科 コミュニティ政策学科※  
人文学部／欧米文化学科 日本文化学科  
人間福祉学部／児童学科 こども心理学科 人間福祉学科  
学長代行／阿久戸 光晴  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 Tel 048-781-0925  
※2014年度よりコミュニティ政策学科は政治経済学科と統合します

## 聖学院大学総合研究所

所長／高橋 義文  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 聖学院大学内 Tel 048-725-5524

## 聖学院大学附属みどり幼稚園

園長／村山 順吉 園長代行／山口 博  
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820 Tel 048-622-3864

### ■駒込キャンパス

## 聖学院

中学校  
高等学校  
校長／戸邊 治朗  
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1 Tel 03-3917-1121

## 女子聖学院

中学校  
高等学校  
校長／阿部 洋治  
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-2277

## 聖学院小学校

校長／村山 順吉  
〒114-8574 東京都北区中里3-13-1 Tel 03-3917-1555

## 聖学院幼稚園

園長／佐藤 慎  
〒114-8574 東京都北区中里3-13-2 Tel 03-3917-2725

### ■米国アトランタ

## 聖学院アトランタ国際学校

校長／エイハーン みな子  
5505 Winters Chapel Road, Atlanta, GA 30360 USA  
Tel 1-770-730-0045